

細則別紙1 BSIJ-CPDシステムの分類と単位

建築コスト管理士更新に際して年間必要取得単位・・・16単位

形態		内容	入力する時間数	換算単位数	年間上限単位	自己申請	備考	
参加学習型	2.講習会	特別総合講習	建築積算士認定事業に定める「更新講習」の受講	4時間	更新講習1回で60⇒8単位を付与する		×	建築積算士の資格更新のための必須プログラム
		一般講習等	協会主催の講習会、研修会の受講 *他団体との共催を含む	受講時間	1単位/時間		×	「特別総合講習」以外の講習会・研修会
			協会主催の長期型研修の受講(通学)	受講時間	1単位/時間		×	
			外部プログラムによる講習・研修の受講	受講時間	1単位/時間		○×	
		講演会・シンポジウム	講演会・シンポジウムへの参加	受講時間	1単位/時間		○	
			大学等の公開講座の受講	受講時間	1単位/時間		○	
	その他	全国大会	4時間	全国大会 4時間×1 4単位	4単位	○×		
	3.見学会	見学会	現場見学会への参加	見学時間	1単位/時間 ※実質見学時間のみ		○×	他団体主催も含む。
			海外視察	5時間/日	2単位/日 ※出・帰国日は対象外		○×	他団体主催も含む。
		海外調査等	協会派遣の海外調査	5時間/日	2単位/日 ※出・帰国日は対象外		×	
協会派遣の国際会議への参加			5時間/日	2単位/日 ※出・帰国日は対象外		×		
官公庁主催の海外調査、国際会議等参加			5時間/日	2単位/日 ※出・帰国日は対象外		○×	業務の場合は対象外となります。	
	他団体主催の海外調査、国際会議等参加	5時間/日	2単位/日 ※出・帰国日は対象外		○×	業務の場合は対象外となります。		
4.e-ラーニング	1-4 e-ラーニング講座	協会主催のe-ラーニング講座の受講	※1	1単位/時間(パッケージ単位で設定)		×	※1 講座毎にパッケージ化し、時間数(取得単位)を定める。繰り返しの視聴(再確認)が可能のため、実際の講義時間とは異なることがある。	
情報提供型	1.講師	講師	講習会、研修会等の講師	担当時間	2単位/時間	12単位	○	
			講演会・シンポジウム等の講師、パネリスト等	担当時間	2単位/時間		○	
大学、専門学校等の講師			担当時間	2単位/時間	○		専任教職員等の立場での講師はCPD対象外とする。	
論文等発表		論文、調査研究報告等の発表	発表時間	2単位/時間	○			
2.社会貢献	2-2 社会貢献活動	専門知識・技術を生かした社会貢献	活動時間	2単位/時間 ※実質活動時間のみ		○	公共性のあるものに限る(例=災害支援、建設工事紛争審査会への協力、調停委員、鑑定人、その他ボランティア活動)	
技術協力型	執筆活動	専門誌原稿執筆	2時間/頁	2単位/頁		○		
		学術論文執筆	2時間/頁	2単位/頁		○		
	委員会活動	協会本・支部役員会、委員会等の活動	2時間/回	1単位/回	8単位	○	対応の違いから自己申請とする。	
		他団体委員会活動	2時間/回	1単位/回		○		
		協会本部総会・支部総会	2時間/回	3単位/回		○		
論文等審査・査読	論文等の審査・査読	2時間/件	1単位/件	10単位	○			
自己学習型	専門雑誌購読	協会会誌「建築と積算」掲載のCPD認定記事による学習	1時間/記事	1単位/CPD認定記事(1単位/1時間)	10単位	○	各CPD認定記事ごとに申請する。	
		その他団体等の会誌・機関紙及び市販の専門雑誌等の購読	上限4時間	1時間/1記事(1単位/1時間)	4単位	○	各記事ごとに申請する。	
	専門図書による勉強	専門図書による自己研修	上限12時間	2単位/冊(2単位/2時間)	12単位	○	専門書毎にその都度申請する。	
	e-ラーニング講座	他団体主催のe-ラーニング講座の受講	受講時間	1単位/時間		○	講座毎にその都度申請する。	

※ 年間上限単位については、その年度の開始日(4月1日)から年度末(翌年3月31日)におけるものとする。

※ 自己申請における受講時間・見学時間・担当時間等の入力時間の申請は、1日コースであればその日時、複数日にまたがるコースであれば1日毎に行なう。

自己申請欄の○×について、
 ×印:自己申請不要:協会主催で協会が事前認定したプログラム及び外部プログラムを協会が事前認定したもの。受講確認は行う。(CPD情報システム「認定プログラム一覧」を参照)
 ○印:自己申請必要:上記×印の説明に該当しないプログラム。(技術協力型・自己学習型・実務実績型に該当するプログラムは全て自己申請の要あり)